

2022年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
キャリアデザイン4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	山田素子 笹本篤 吉田光男			実務 経験	有	職種	映像制作全般				
担当教員紹介											
山田：放送業界で製作業務に従事していた 放送作家・構成作家・ディレクター 笹本：放送業界で編集・後処理業務に従事していた IMAGICAほか 吉田：イベント業界で音響業務に従事していた											
授業概要											
放送・映像関連業界に限らず、学生の将来設計に寄与する。就職活動支援（履歴書指導・面接指導 等）、年金、健康保険の知識ほか社会人として生きていくための様々な知識を学ぶ。											
到達目標											
社会人として全般的な知識を身につける											
授業方法											
就職活動における書類、面談スキルについては経験を重視し、その他は講義形式で知識を学ぶスタイルを取る。											
成績評価方法											
レポート 平常点	60% 40%	授業内容の理解度確認の為実施 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、基本的に全員に対して同内容の講義を行うが、キャリア形成に関する部分についてはより個別に対策を講じる。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
キャリアサポートブック（日本工学院専門学校作成）											
回数	授業計画										
第1回	前期活動の確認			就職活動を行う中での成功体験、失敗体験とその理由を確認する							
第2回	現実と調整			就職活動を行う中で、希望との調整を行っていく							
第3回	履歴書、プロフィールの制作④			表現したいことと求められていることのギャップ調整を行う							
第4回	履歴書、プロフィールの制作⑤			より質の高い履歴書の作成を進める							
第5回	ポートフォリオの作成①			1 年次制作作品、2 年次前期制作作品を映像、あるいは画像で揃える							

2022年度 日本工学院専門学校		
放送芸術科		
キャリアデザイン4		
第6回	ポートフォリオの作成②	自分をアピールするための補完資料として提示できる体裁を整える
第7回	ポートフォリオの作成③	提出先の環境に対応できるように、様々なメディアで提示できるよう準備する
第8回	ポートフォリオの作成④	よりコンパクトで印象強いものに仕上げる
第9回	履歴書、プロフィールの制作⑥	ポートフォリオを踏まえ、整合性を高める
第10回	履歴書、プロフィールの制作⑦	さらに補正を行い完成させる
第11回	面接スキルの応用①	前期就職活動における経験をふまえた面接指導①
第12回	面接スキルの応用②	前期就職活動における経験をふまえた面接指導②
第13回	面接スキルの応用③	前期就職活動における経験をふまえた面接指導③
第14回	面接スキルの応用④	前期就職活動における経験をふまえた面接指導④
第15回	まとめ総括	これまでの取り組みの確認と成長の確認